

「研究の方法」

算数科を通して、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした、授業提案をする。

ブロックで目指す児童像を共有化する。

低学年：自分の考えをもって具体物や言葉などを用いて表そうとする姿

相手の考えや思いを受け止めようとする姿

中学年：話し手は、言葉・数・図・式などを用いて自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えようとする姿

聞き手は、相手の考えや思いを受け止め、自分の考えを深めようとする姿

高学年：式や図などを適切に用いて考えを伝え合い、課題を解決しようとする姿

支援級：子どもたちが協力して活動し、一人ひとりのよさや可能性を発揮する姿